

# アドミッション・ポリシー

## 大学院 園芸学・食品科学研究科

園芸学・食品科学研究科は、学術の理論および応用を教育・研究することにより、高度専門職業人を育成し、もって社会や文化の進展に寄与することを目的としています。この方針に従い、各専攻のアドミッション・ポリシーを以下のように定めています。

園芸学専攻では、植物の改良、環境保全および人や社会に対する新しい可能性を求めて、園芸・造園・環境に関する知識や技術を教育・研究するとともに、教養、人間力、社会性および国際性を身に付けることにより高度専門職業人として地域から全世界まで活躍できる人材の育成を目的としています。

したがって、本専攻では次のような人を求めています。

1. 生物について興味があり、さらに深く学びたい人
2. 園芸植物の栽培技術の開発、生理生態の解明、生産物の品質向上に関して興味のある人
3. バイオテクノロジーによる育種、病害虫発生メカニズム、植物由来の有用成分に関心の深い人
4. 農林業をとりまく地域社会の現状に問題意識をもち、農林資源や自然環境を活かした地域活性化に関わる研究に意欲が旺盛な人
5. さまざまな自然生態系に関心があり、人間と自然とが調和した社会のあり方を探求したい人
6. 造園学・造園技術を活用し、庭園・公園や自然緑地など、幅広い緑地空間の創造・維持に必要な能力を深めたい人

食品科学専攻では、生命科学を基盤として食品に関する基礎的、応用的研究を行うことにより、食品化学、食品微生物、食品生化学分野に精通し、会得した知識技術を社会において有効に活用できる高度専門職業人を育成することを目的としています。

したがって、本専攻では次のような人を求めています。

1. 食品について興味があり、さらに深く研究したい人
2. 食品の機能性や栄養に関する基礎的・応用的研究に興味のある人
3. 微生物の健康面への利用を、バイオテクノロジーの手法により有効に進めたい人
4. 食品の安全・安心に生化学的視点からアプローチし、社会に役立てたい人
5. 食品と生命科学に関する研究をしたい人